

**丹波黒** 煮豆加工適性に優れ、枝豆としても評価の高い良質品種。

## 1 加工適性

### (1) 加工上の長所・短所

古くから丹波地方で栽培されていた在来黒大豆で、世界一の極大粒です。大粒にもかかわらず裂皮はあまりありません。種皮の表面に白い「ろう粉」を生じるのが外観上の特徴です。

煮豆にすると、見栄えが良く、柔らかく、舌触りが滑らかで風味が良いので、最高の材料とされています。枝豆にしても煮豆と同様のおいしさが特徴です。

### (2) 品質に関するデータ

| 項目         | 丹波黒  | タマホマレ |
|------------|------|-------|
| 粒大         | 極大   | 中     |
| 粒形         | 球    | 球     |
| 百粒重(g)     | 83.7 | 28.5  |
| 種皮色        | 黒    | 黄     |
| へその色       | 黒    | 黄     |
| 成分組成(対乾物%) |      |       |
| 粗蛋白質含有量(%) | 37.1 | 37.2  |
| 粗脂肪含有量(%)  | 18.7 | 19.0  |
| 全糖含有量(%)   | 20.1 | 20.0  |
| 可溶性糖含有量(%) | 19.2 | 16.9  |

平成10年度兵庫県立北部農業技術センター調査結果。  
成分組成については、兵庫県立中央農業技術センター農業試験場但馬分場産の収穫物分析結果(1988)。タンパク質換算係数は5.71とした。

### (3) 煮豆適性測定結果

| 項目                       | 丹波黒  | タマホマレ |
|--------------------------|------|-------|
| 吸水増加比<br>煮豆              | 2.08 | 2.08  |
| 粒径(mm)                   | 11.9 | 8.9   |
| 切断強度(g/cm <sup>2</sup> ) | 153  | 264   |

兵庫県立中央農業技術センター農業試験場但馬分場産の収穫物分析結果(1988)。

## 2 栽培特性

### (1) 栽培上の長所・短所

近畿地方では最も晩生であり、普通の大豆に比べて草姿が大きく、主茎が太く下位分枝が開張します。枝折れ、倒伏、ウイルス病、立枯性病害などで収量が不安定です。しかし、高価格が期待できるので労力をかけて生産に取り組む地域が増えています。

### (2) 栽培特性に関する育成場所での試験結果

| 項 目        | 丹波黒    | タマホマレ  |
|------------|--------|--------|
| 開花期 (月. 日) | 8. 9   | 7. 27  |
| 成熟期 (月. 日) | 11. 25 | 10. 29 |
| 耐倒伏性       | 弱      | 強      |
| ウイルス病      | 弱      | 中      |
| 草型         | 開張型    | 閉鎖型    |
| 主茎長(cm)    | 63     | 63     |
| 主茎節数       | 17. 6  | 14. 4  |
| 分枝数        | 11. 1  | 4. 6   |
| 子実重(kg/A)  | 19. 2  | 29. 5  |

\*平成10年度兵庫県立北部農業技術センター試験成績に基づく。

## 3 栽培地域 (平成21年産)

滋賀県 204ha 京都府 374ha 大阪府 3ha 兵庫県 1,391ha  
岡山県 1,230ha 香川県 10ha 愛媛県 8ha

## 4 栽培上の留意点

丹波黒は一般に遺伝的純度が低く、小粒など特性の劣る系統もあるので、種子は信頼できる所から入手することが必要です。

ほ場は灌排水のしやすい地力の高い転換畑を選び、連作は2年程度までとします。

播種は6月上旬頃にします。直播、育苗移植栽培とも行われますが発芽率が低いので多めに播き、立毛密度は2~3株/m<sup>2</sup>(1本立て)とします。7月中旬頃までに2~3回、最終的に第1本葉節まで培土します。梅雨明けまでは排水に注意し、その後は土壤が乾燥しすぎないように、必要に応じて畝間灌水します。8~9月は虫害主体に数回防除を実施します。丹波黒ではカメムシ、ハスモンヨトウ、ウイルス病、茎疫病などの被害が目立ちますが病害の防止は困難です。枝豆用は最終防除を9月中旬までに行います。収穫は枝豆としては10月中旬頃、乾燥子実用は11月中~下旬の黄葉期頃に行います。

調査場所：兵庫県立農林水産技術総合センター北部農業技術センター  
問い合わせ先：北部農業技術センター農業部  
tel 0796-74-1230 fax 0796-74-2211